

STAGE+を楽しむ(219)(HP 収載)
—ハイドンのオラトリオ《天地創造》—

1. 始めに

前報(218)に引き続き、STAGE+のハイドンのオラトリオ《天地創造》の演奏の試聴を実施します。

2. 試聴音源

今回は、STAGE+のハイドンのオラトリオ《天地創造》の演奏を選びました。

ボストン・バロック

再配信 2025 年 1 月 2 日 4:00

再配信 2025 年 1 月 2 日 10:00

ソプラノ歌手ヘラ・イエサン・パクが、テノールのポール・アップルビー、バリトンのニコラス・ニュートンとともに、音楽監督マーティン・パールマン率いるボストン・バロックと共演する模様をお届けします。ハイドンは、1790 年代前半にロンドンへ旅行した際、耳にしたヘンデルの大規模な合唱曲に刺激を受け、聖書を題材にしたオラトリオ《天地創造》を書き上げました。ハイドンの旋律や物語の描写、管弦楽法に対する円熟した技法が発揮された、彼の最高傑作ともいえる作品です。注目の歌手たちと、パールマンが設立したアメリカ屈指の古楽演奏団体、ボストン・バロックが織り成す瑞々しいサウンドを存分にご堪能いただけることでしょう。

ソリスト:

ヘラ・イエサン・パク (ソプラノ)、ポール・アップルビー (テノール)、ニコラス・ニュートン (バスバリトン)

演奏:

ボストン・バロック

指揮:

マーティン・パールマン

曲目:

ヨーゼフ・ハイドン オラトリオ《天地創造》Hob.XXI:2



3. 試聴の経過

前回に引き続き、これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナッツも使用しています。さらに、スピーカーアキュライザーのマイナス端子への Crystal EpY-G の接続を継続しています。

パールマン指揮ボストン・バロックの演奏は初めて聴くものですが、オーソドックスな古典的な演奏スタイルです。

3名のソリストの独唱、二重唱、三重唱などの歌唱は自然で、特にパクのソプラノは透明度の高い清純な歌唱で魅了します。ソリストの歌唱の際の伴奏のチェンバロも明晰です。

このハイドンのオラトリオ「天地創造」は、合唱も含めて、後のベートーベンの第9を想起させるような複雑な構成の大曲ですが、破綻なく再現されています。







4. まとめ

これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナッツや Crystal EpY-G も使用した結果、このハイドンの大曲の魅力を伝えてくれました。

以上